

## 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

### 1. 今後の見通し

予測期間: 2010年10月中旬から11月下旬までの旬別  
 対象海域: 道東海域、三陸海域、常磐海域  
 対象漁業: さんま棒受網漁業  
 対象魚群: 南下回遊群

#### 1) 道東海域

(1) 来遊量: 来遊量は徐々に減少し、10月中旬以降は低位水準となり、11月上旬には断続的となる。

(2) 漁場: 10月中旬は落石～襟裳岬沖が、10月下旬～11月上旬は襟裳岬沖が漁場となる。11月上旬には終漁となる。

#### 2) 三陸海域

(1) 来遊量: 10月中旬～下旬は低位水準であるが、来遊量は徐々に増加し、11月上旬は中位水準となる。11月中旬から減少し、低位水準となる。

(2) 漁場: 10月中旬～11月上旬は、三陸北部～南部に漁場が形成される。11月中旬に北部の漁場が消滅し、漁場は南部のみとなる。

#### 3) 常磐海域

(1) 来遊量: 10月下旬は断続的ではあるが来遊がある。11月上旬は低位水準であるが、来遊量は徐々に増加し、11月中旬～下旬は中位水準となる。11月下旬には、減少を始める。

(2) 漁場: 10月下旬～11月上旬は、常磐北部において漁場が形成される。11月中旬に漁場が南部まで広がる。

### 2. 予測の概要

海 域		10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	低位減少	低位減少	断続的		
	漁 場	落石～襟裳岬沖	襟裳岬沖	襟裳岬沖		
三陸海域	来遊量					
	動向	低位増加	低位増加	中位増加	中位減少	低位減少
	漁 場	北部～南部	北部～南部	北部～南部	南部	南部
常磐海域	来遊量					
	動向		断続的	低位増加	中位増加	中位減少
	漁 場		北部	北部	北部～南部	北部～南部

### 3. 漁況の経過概要

(9月下旬)

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、9月中旬を上回ったものの、前年を大幅に下回り、低位水準であった。日別 CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、来遊量は徐々に増加した。

##### (2) 漁場

道東海域の主漁場は、落石～厚岸大黒島沖であった。29日夜は時化で休漁となり、30日夜に襟裳岬沖にも漁場が出来た。

落石南東 15 海里～厚岸大黒島南 70 海里付近(表面水温 13～17℃)。28 日夜までは落石沖～厚岸大黒島沖 15 海里付近であった。30 日夜に厚岸大黒島南 70 海里付近まで漁場が広がった。小型船多数と大型船と操業。1 晩で 100 トン程度漁獲する船もあったが、船間差が大きく、数トン～60 トン程度の船多かった。

襟裳岬東沖の 30～50 海里付近(表面水温 15～17℃)。30 日夜に大型船が 20 隻程度操業。数トン～90 トン漁獲。

襟裳岬南沖の 85 海里付近(表面水温 17～19℃)。30 日夜に大型船が操業し、45～40 トン漁獲。

##### (3) 魚体

30～31cm モードの大型魚主体だが、25～27cm モードの中型魚主体の群もある。大型魚は体重 140～150g 台が多い。